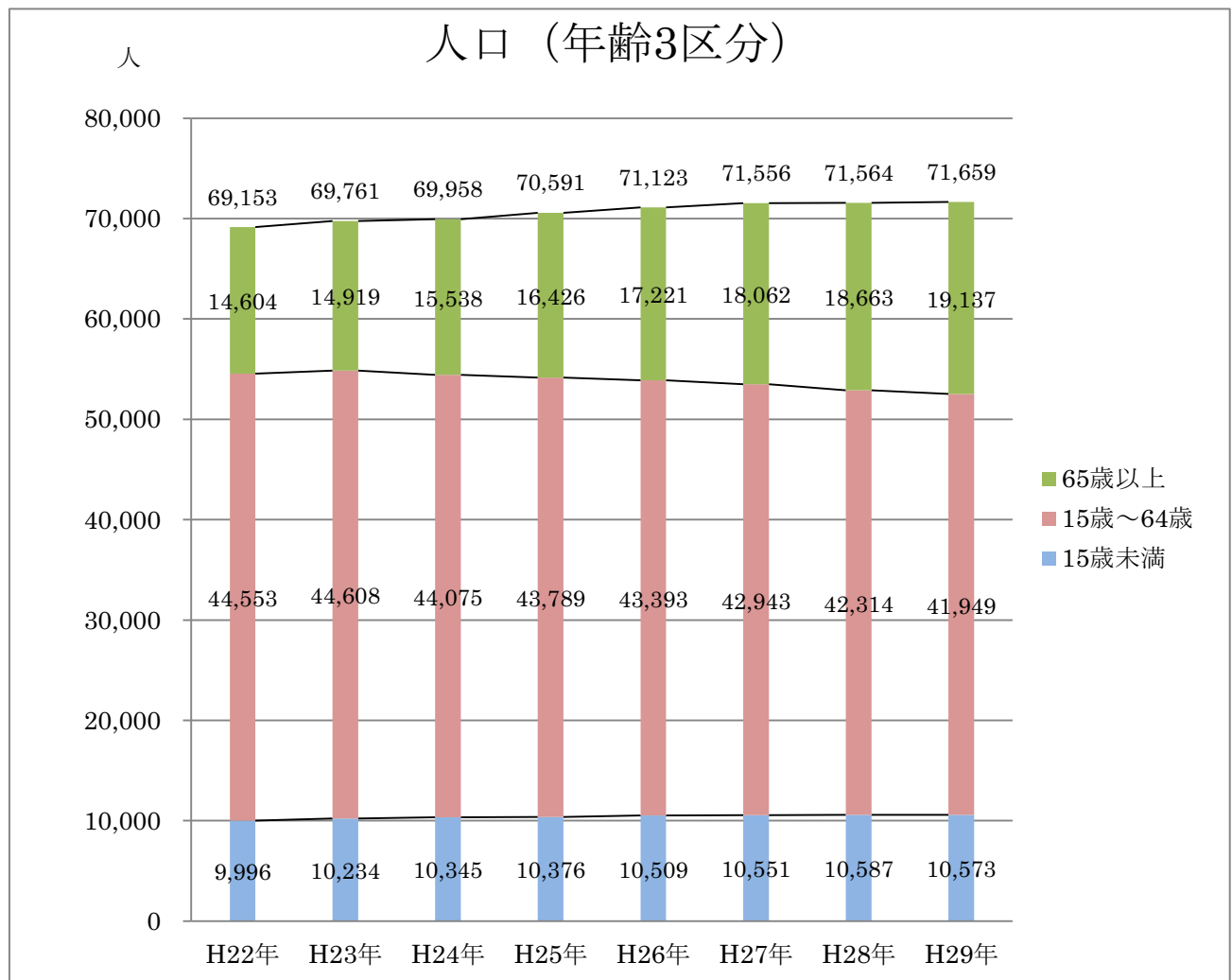


## 第2章 太宰府市の現状

### (1) 人口構成の推移

太宰府市の総人口は、一貫して増加を続けています。生産年齢人口（15歳～64歳）が平成12年をピークに減少に転じる中、65歳以上人口は過去30年間で約3倍に増加し、今後も高齢化が進行する見込みです。

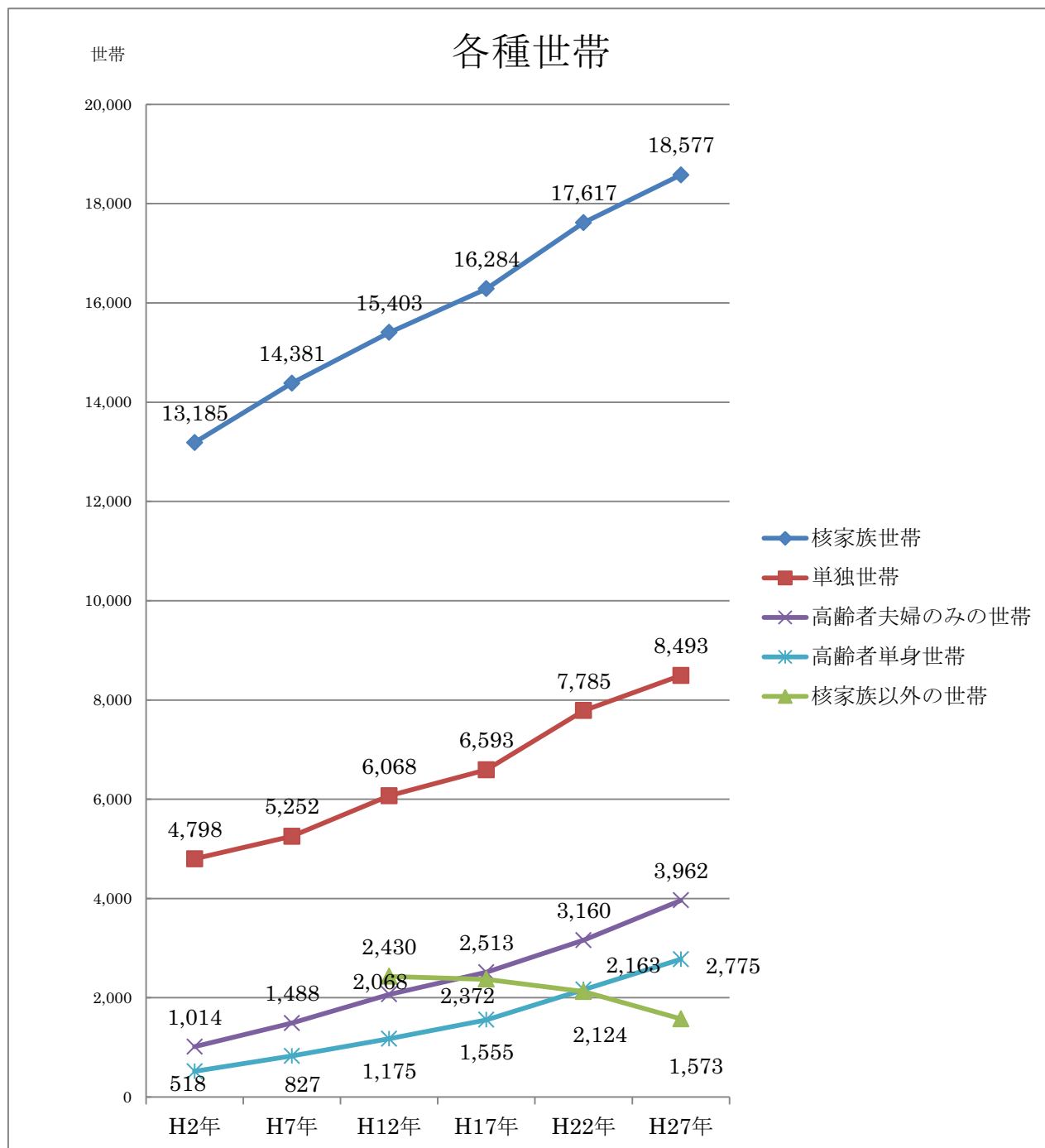
また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、総人口は2025年にピーク（7万3千人）を迎え、その後減少に転じる見込みです。



出典：住民基本台帳（各年3月）

## (2) 各種世帯数の変遷

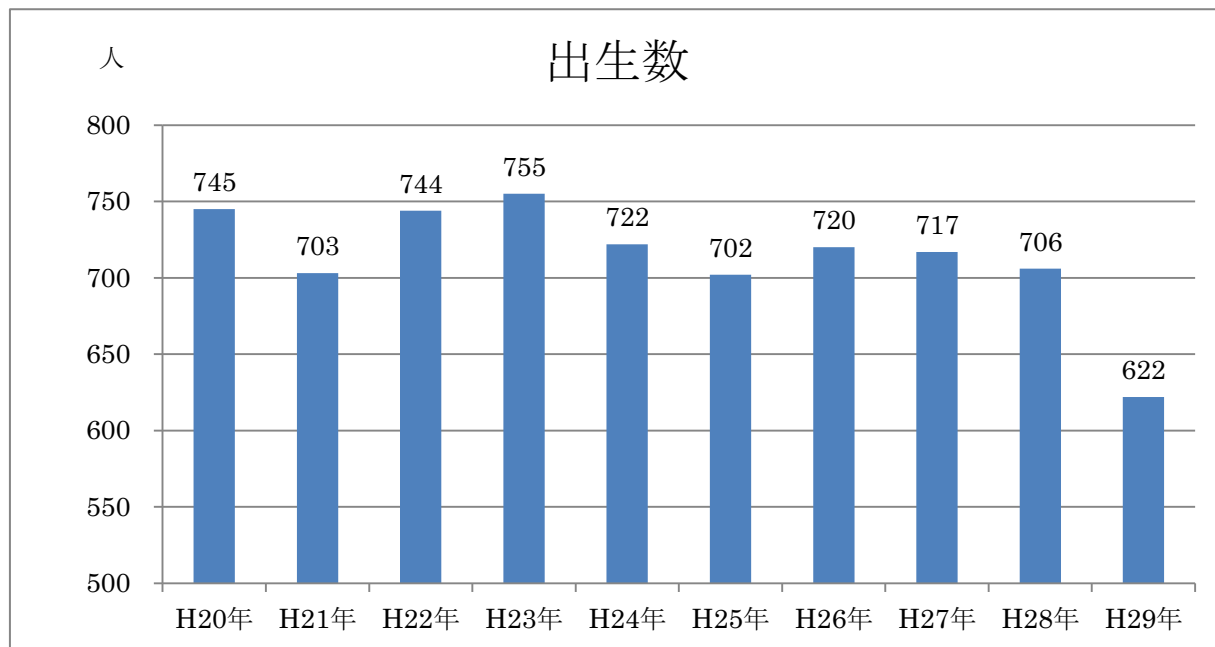
核家族世帯・単独世帯・高齢者夫婦のみ世帯・高齢者単身世帯が増加を続けており、核家族以外の世帯が減少しています。核家族化が進行している状況が分かります。



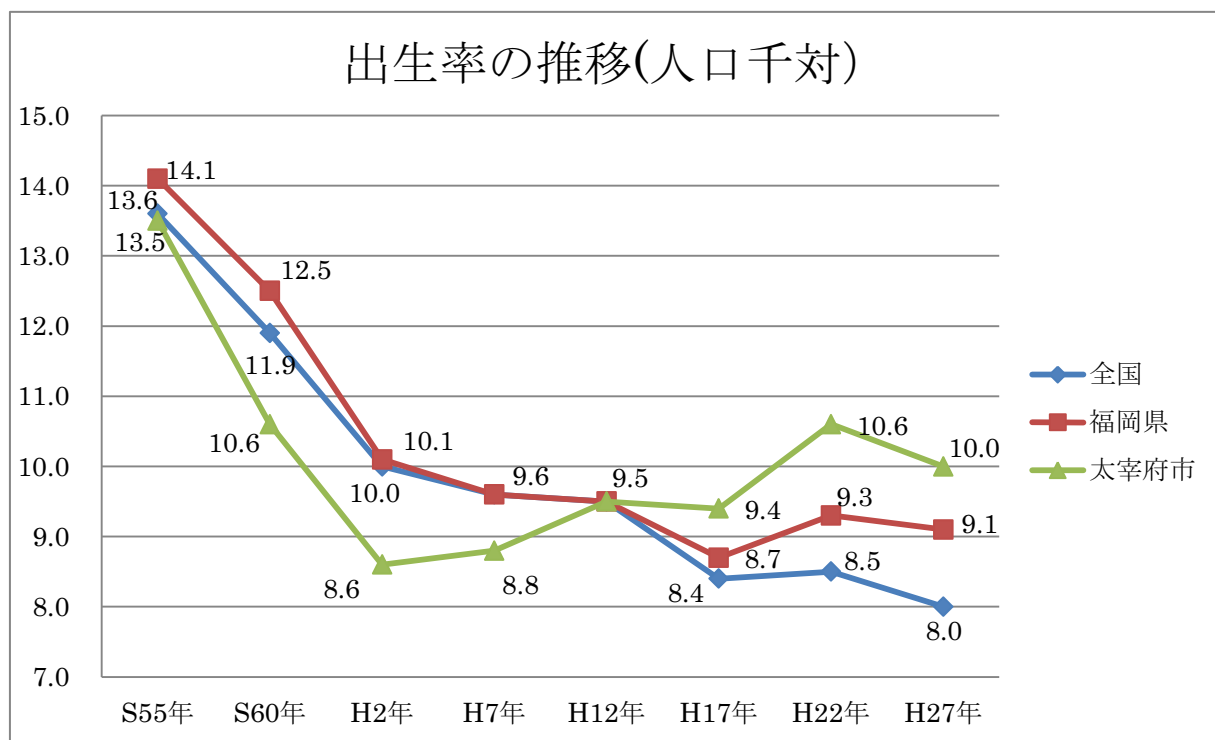
出典：統計でみる市区町村のすがた

### (3) 出生数・出生率の推移

平成7年(1995年)に550人であった出生数は、この10年間ほどは、ほぼ横ばいの700人前後で推移していましたが、平成29年に1割ほど減少しました。出生率は、この10年間ほどは、国・県の平均より高く推移しています。



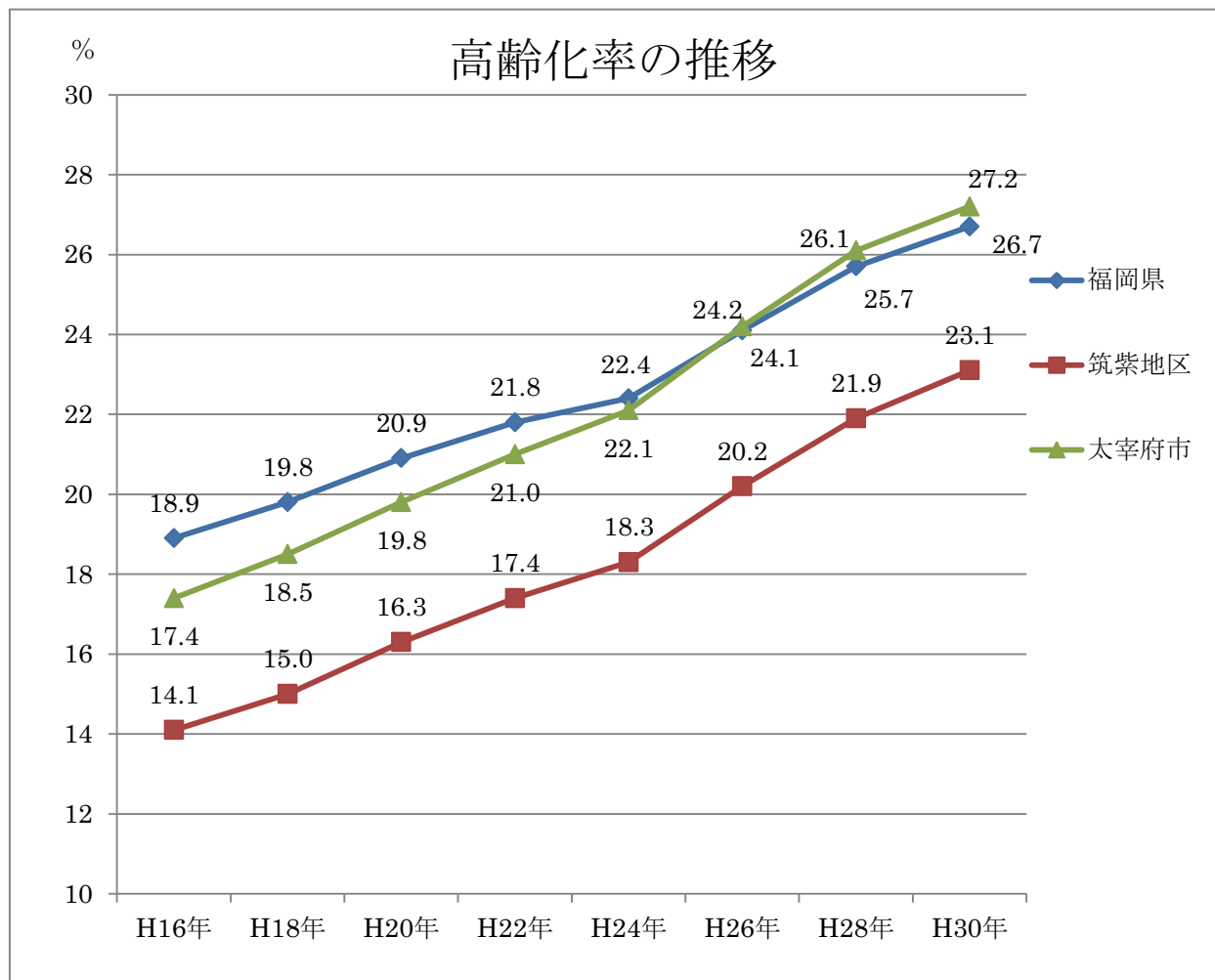
出典：住民基本台帳



出典：国勢調査及び平成30年度福岡県筑紫保健福祉環境事務所業務年報

#### (4) 高齢化の進行

高齢化率は上昇を続けており、筑紫地区においては、太宰府市がもっとも高齢化率が高くなっています。今後も高齢化は進み、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年には3人に1人が高齢者になると見込まれています。

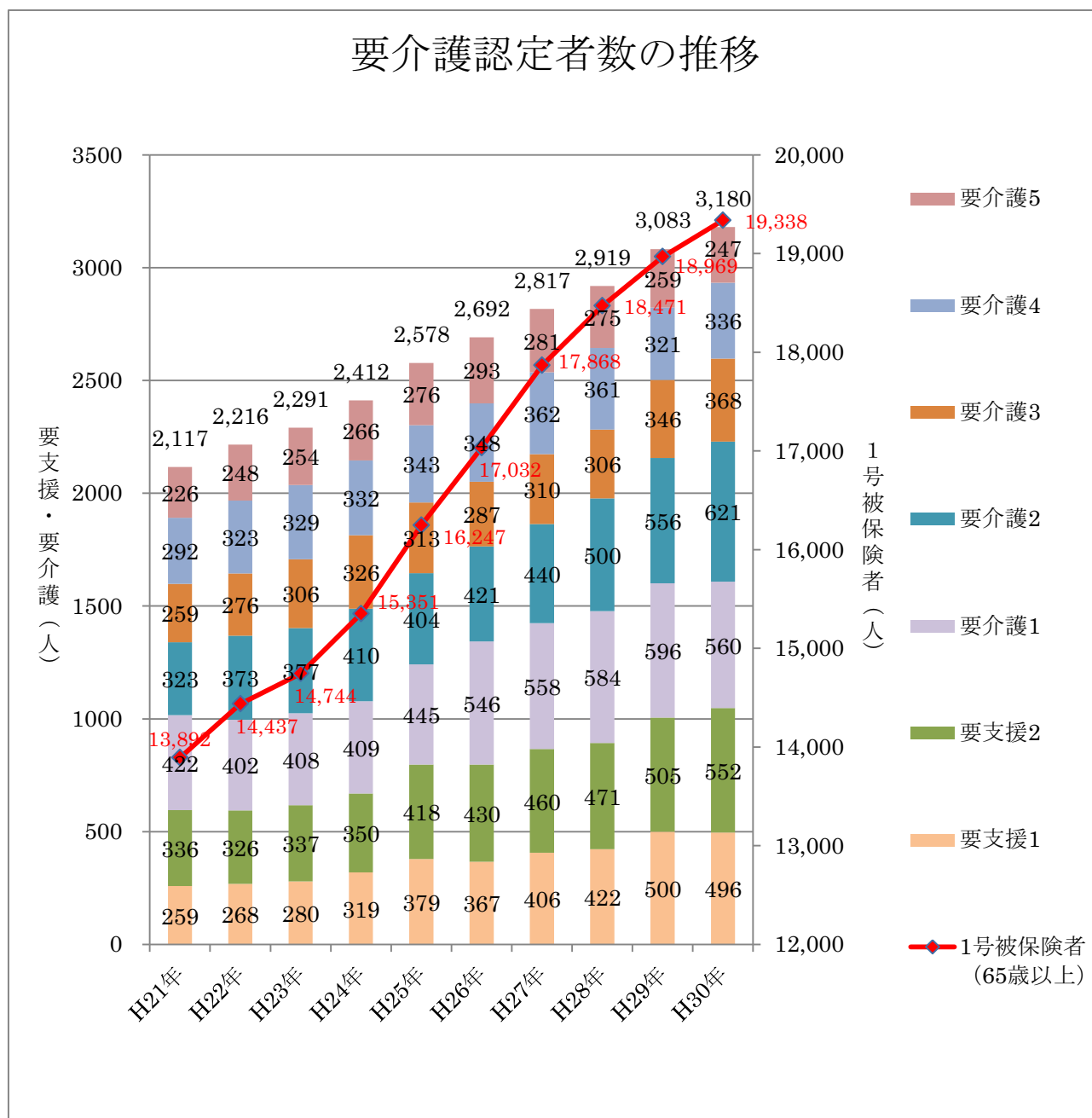


出典：住民基本台帳（各年4月）

## (5) 要介護者の増加

要介護認定者数は増加を続けています。今後も高齢化の進行と共に、認定者数の増加が見込まれます。

要介護度別にみると、「要支援1・2」および「要介護1」の軽度者が全体の約半数を占めています。



出典：介護保険事業状況報告（各年3月末時点）

## (6) 主要死因

太宰府市の死因順位は以下のとおりです。死因上位となる疾病は国・県と同様です。

【太宰府市の主要死因（平成 27 年）】（人）

	死因	死亡数
1 位	悪性新生物（がん）	1 7 1
2 位	心疾患	8 1
3 位	肺炎	6 7
4 位	脳血管疾患	3 9
4 位	老衰	3 9

出典：平成 30 年度筑紫保健福祉環境事務所業務年報